

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と老化の理解Ⅱ Development and Aging Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
こころとからだのしくみ 認知症の理解 障害の理解				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
吉田 志保	福祉棟3階	授業中にお知らせします		授業中に指示します
授業の概要				
高齢期について、高齢者の加齢に伴う心身の状況の変化と日常生活に及ぼす影響についての基礎的な知識の取得を図る。				
授業の目標				
①高齢者の疾病と多い病気について知識を取得できるようにする。 ②死について考える知識を取得できるようにする。 ③保健医療との連携について知識を取得できるようにする。 ④高齢者の生活課題について知識を取得できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習、模擬授業、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果（学習成果）				
①高齢者の疾病と多い疾患についてまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 ②加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	発達と老化Ⅱについて学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。ガイダンス・概要説明。			
第2回目	高齢者の症状・疾患の特徴について			
第3回目	老化に伴う心身の変化の特徴について			
第4回目	高齢者と健康（高齢者に多い症状について）			
第5回目	高齢者と健康（生活習慣病、脳血管障害など）			
第6回目	高齢者と健康（糖尿病、骨粗鬆症など）			

第7回目	高齢者と健康（高齢者に多い病気とその留意点について）	
第8回目	高齢者と健康（高齢者に多い病気とその留意点について 在宅の事例をまとめる）	
第9回目	高齢者と健康（高齢者に多い病気とその留意点について 終末期事例をまとめる）	
第10回目	高齢者と健康（代表的な感染症について）	
第11回目	高齢者と健康（廃用症候群とその予防など）	
第12回目	高齢者と健康（その他の疾患、関節リウマチ、白内障などについて）	
第13回目	高齢者と健康（ケアマネジメントなど、連携事例についてまとめる）	
第14回目	高齢者と健康（疾病予防、健康管理など）	
第15回目	発達と老化の理解のまとめ 全範囲の復習など 学んだことを整理する	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	10%	出題者の意図に合致したものとなっている。詳細はガイダンス等で説明する
調査報告書		
小テスト	10%	国家試験に準じた問題を解き、理解できたかどうかを確認する。詳細はガイダンス等で説明する
試験	50%	授業で学んだ内容を中心に理解できたかどうかを確認する。詳細はガイダンス等で説明する
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：新・介護福祉士養成講座 「発達と老化の理解」 中央法規出版		
履修上の留意点・ルール		
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。		